

第2学年 社会科学習指導案

単元名：世界と比べた日本の地域的特色～自然環境の特色～

1 日 時 平成30年

2 場 所

3 学年・組

4 育成をめざす資質・能力

本校で育成を目指す資質・能力は以下の【1】～【4】である。

- | | |
|------------|--------------|
| 【1】知識 | ①知識・情報 |
| 【2】スキル | ②コミュニケーション能力 |
| | ③思考力 |
| 【3】意欲・態度 | ④主体性 |
| 【4】価値観・倫理観 | ⑤自らへの自信 |

5 単元設定の理由

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領社会「地理的分野」の内容「(2) 日本の様々な地域
イ 世界と比べた日本の地域的特色 (ア) 自然環境」を受けて設定したものである。

(ア) 自然環境

世界的視野から日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色を理解させるとともに、国内の地形や気候の特色、自然災害と防災への努力を取り上げ、日本の自然環境に関する特色を大観させる。

また、「世界と比べた日本の地域的特色」の学習は、世界的視野から日本を一つの地域として取り扱ったり、日本全体の視野から大まかな国内の地域差に着目させたりすることによって、我が国の国土の特色を様々な面から大観できるものである。この面から、日本の地域的特色の理解につなげていくことができ、その後に学習する日本の諸地域において課題を見出し、多面的・多角的に考察するのに適した単元である。

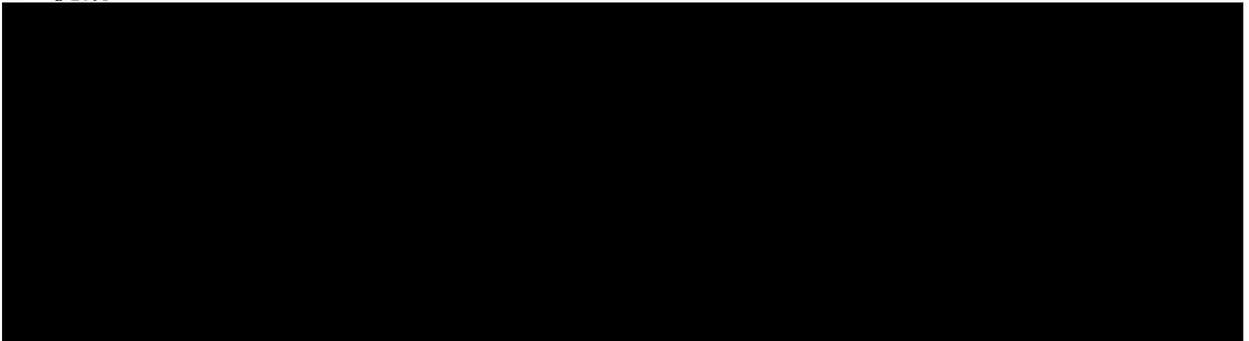
本単元を通じて育成をめざす資質・能力とのかかわり

本校で育成を目指す資質・能力のうち、本単元においては2点に重点を置くものとし、その力を育成するために設定した場面・目指す生徒像は次の通りである。

【スキル】

- ②コミュニケーション能力
グループの仲間と協力して、課題を解決することができる。
- ③思考力
単元を貫く課題に対して、知識や情報をもとに考えることができる。

(2) 生徒観





(3) 指導観

①指導観

本単元では、まず、世界と比べた日本の地域的特色（地形）を大観させる。そして、それらの地域的特色をもとに、日本の気候や地域の地形、それらがもたらす災害への疑問を生徒から導き、生徒の身近な事象と関連付けることで解決し、新たな発見ができるような展開にしていく。その際、本学級の生徒の課題である「知識・技能を活用した問題」にスムーズに取り組ませるために、既習知識をその都度、復習していくことで思考に必要な事項を定着させていきたい。単元の終末部では、パフォーマンス課題を課し、単元の内容を定着させることができているか確認する。

指導にあたっては、本校の研究テーマである「書く」活動を積極的に設定していく。振り返りの時間を十分に確保することに加え、グループでの協同学習を通して、書くことをスムーズにさせ学習に対する理解や興味・関心を高めたい。こうすることで個人思考が困難な生徒も、生徒同士の教え合いの中で思考を深めることができるよう工夫する。これらを十分に生かし、協同して課題発見・解決できる力を養っていく。

②研究テーマとの関係

① 基盤となる授業づくり (本郷スタンダードの徹底)	② 考えを書いて表現する活動を取り入れた授業改善
<p>○学習意欲を引き出す導入 生徒が自ら解決する課題を見つけられるように、既習知識を復習する時間をとったり、身近な事例をあげたりする。</p> <p>○考える場面の設定 個人思考、小グループによる思考を取り入れ、新たな発見ができるよう工夫する。</p>	<p>○書く活動 資料から読み取った内容やそこから考えられることを文にまとめる習慣をつけさせる。</p> <p>○表現する活動 資料から読み取った内容やそこから考えられることを小グループで聞き手に伝わるように発表させる。</p> <p>○ふりかえり場面 本時の内容でわかったことや、めあてに対する自分の考えをまとめさせる。(支援が必要な生徒には、本時の授業の感想を書かせ、何も書かない・ふりかえらない状況を作らせない)</p>

6 単元の目標

- (1) 世界的視野から日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色を理解することができる。
- (2) 国内の地形や気候の特色、自然災害と防災への努力を取り上げ、日本の自然環境に関する特色を考察することができる。

【中学校学習指導要領社会「地理的分野」の内容(2)イ(ア)】

7 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用 の技能	社会的事象について の知識・理解
世界的視野や日本全体の視野から見た、日本の自然環境に関する特色やそれらが抱える課題に対する関心を高め、意欲的に追究し捉えようとしている。	世界と比べた日本の自然環境に関する特色と課題について、地形図やハザードマップをもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界と比べた日本の自然環境に関する特色と課題を雨温図や地形図、グラフなど様々な資料から読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	世界と比べた日本の自然環境に関する特色と課題について、世界的視野や日本全体の視野から理解し、その知識を身につけている。

8 学習内容と評価の計画（全8時間 本時8／8）

次	時	学習内容（時数）	主な学習内容				資質・能力の 評価方法	
			関	思	技	知		
1	1	世界の地形 課題の設定 単元を貫く課題：日本・本郷は安心・安全な自然環境なのだろうか？	◎		○		<ul style="list-style-type: none"> 日本の地域的特色への関心を高め、自然環境の特色を捉えようとしている。 世界において、日本がどのような地形に位置しているか資料をもとに読み取ることができる。 	②コミュニケーション能力（グループワーク）
2	2	日本の山地・海岸と 周辺の海 情報の収集・整理1				○	<ul style="list-style-type: none"> 日本の山地や海岸、日本を取りまく海の特徴について、理解することができる。 	①知識・情報（行動観察）
3	3	日本の川と平野 情報の収集・整理2		◎		○	<ul style="list-style-type: none"> 日本の川と平野の特色について、理解することができる。 世界の川と比較し、どのような地形を作り出しているか考察することができる。 	①知識・情報（行動観察） ②思考力（ワークシート）
4	4・5	地形図の使い方 情報の収集・分析 まとめ・創造・表現1		◎		○	<ul style="list-style-type: none"> 地形図を読み取る際に必要な技能を習得することができる。 三原市全図を用い、本郷の地形を考察し、文にまとめることができる。 	④主体性（行動観察） ⑤自らへの自信（ワークシート）
5	6	日本の気候 情報の収集・整理3				○	<ul style="list-style-type: none"> 日本の気候は、世界の中でどのような特色があるのか理解することができる。 雨温図を見て、日本の中で気候にどのような違いがあるのかまとめることができる。 	①知識・情報（行動観察） ③思考力（ワークシート）
6	7	日本のさまざまな自然災害 まとめ・創造・表現2		○			<ul style="list-style-type: none"> 日本で発生する自然災害が、地形や気候とどのように関係しているのか考察し、まとめることができる。 	③思考力（ノート）

7	8	自然災害に対する備え まとめ・創造・表現3 実行 振り返り	◎	<ul style="list-style-type: none"> 本郷のハザードマップや地形図から、どのような災害が発生するか読み取ることができる。 読み取った内容をもとに、避難の方法や安心・安全に生活する方法を考え、提案することができる。 	②コミュニケーション能力 (グループワーク) ③思考力 (ワークシート)
---	---	--	---	--	---

9 本時の展開

(1) 本時の目標

本郷の地形の特徴から起こりうる災害を考え、安心・安全に生活する方法を提案できる。

(2) 準備物

地形図、ハザードマップ、TV

(3) 設定した表現活動を通して身に付けさせたい力

コミュニケーション能力、思考力

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
導 入	これまでの学習を振り返る。 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 地形図の読み取りに必要な技能と日本で発生する災害について確認する。 本郷では、災害が起こらないのか想起させる。 		
	本時のめあて 本郷の地形の特徴から起こりうる災害を考え、安心・安全に生活する方法を提案することができる。			
展 開	資料を読み取り、パフォーマンス課題に対する自分の考えをワークシートに記入する。 A.本郷の地形図 B.本郷駅周辺のハザードマップ	本郷スタンダード <ul style="list-style-type: none"> パフォーマンス課題を提示し、考えさせる。 パフォーマンス課題 「美穂さんは、職場に近い本郷駅付近に住むことを考えています。近年の日本の様子を見て、災害についての関心はあるようです。しかし、本郷のことがまだよくわかっていないので、どんな災害がよく起こるのか、どこに避難すればよいのか不安だそうです。AとBの資料から、どんな災害が起こるか予測し、いざというときでも安心・安全・ハッピーに生活する方法を教えてください。」	本郷のハザードマップや地形図から、どのような災害が発生するか読み取ることができる。 (思考力)	ワークシート

書いて表現する			
小グループで意見を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4人グループに分け、意見交流をさせる。その際、聞き手に伝わりやすいように工夫させる。聞く側はよいところや改善点などを付箋に書く。付箋が返ってきたらワークシートに貼らせ、自分の意見を振り返る時間を確保する。 	本郷の地形の特徴から起こりうる災害、安心・安全に生活する方法を提案することができる。 (コミュニケーション能力)	行動観察
全体で意見を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内全員の意見を聞き、どの意見を班の意見とするか話し合わせる。 ・ 各班の意見を黒板に貼り、貼られた意見をグルーピングさせる。 		
本時の振り返りを行い、次時の内容を確認する。			
まとめ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時のまとめ 標高が低いところは、洪水、浸水のおそれがある。避難経路・場所を確認し、非常持ち出し袋を用意しておくことで減災に努めることができる。</p> </div>		

10 板書計画

めあて 本郷の地形の特徴から、安心・安全に生活する方法を提案することができる。			
P146,147			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; height: 60px; margin: 0 auto;">パフォーマンス課題</div>	1班	4班	7班
	2班	5班	8班
	3班	6班	9班
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; height: 20px; margin: 0 auto;">まとめ</div>			